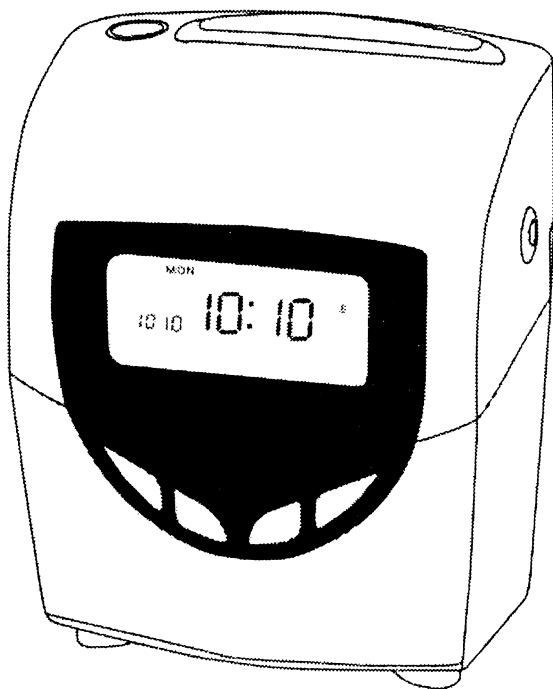


mita タイムレコーダー

mk-400

取扱説明書（保証書付）



● 取扱注意・商品仕様	1
● ① 各部の名称とはたらき	2
● ② 通常の使用方法	3
● ③ 上カバーの開け方・閉め方	3
● ④ 各設定について	
設定項目について	4
設定変更の手順	5
ステップ1. 時計（時・分）の設定	6
ステップ2. 日付（年・月・日）の設定	6
ステップ3. 2色・時報の設定	7
ステップ4. 自動欄移動の設定	9
ステップ5. 時報吹鳴（長さ）の設定	10
ステップ6. 改行時刻（段替り）の設定	11
ステップ7. 締日・空欄の設定	11
ステップ8. パスワードの設定	12
ステップ9. （サマータイムの設定）	12
ステップ10. 残業マーク印字の設定	13
ステップ11. オプション設定について	14
● ⑤ リボン交換の方法	15
● ⑥ 外部時報配線の方法	15
● ⑦ 壁掛けで使用する方	16
● ⑧ リセット方法	16
● ⑨ ご使用のタイムカードについて	17
● ⑩ トラブルシューティング	17
● ⑪ エラーコード一覧	17

mita

株式会社 ミタ

0120-22-8505

ご使用にあたって

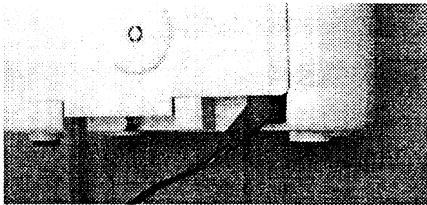
このたびはmitaタイムレコーダーmk-400をお買い上げいただきまして、誠に有難うございました。

ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ご使用上の注意

以上のような場所を避けて設置して下さい。

- ・ 湿気やほこりの多いところ。
- ・ 直射日光の当たるところ。
- ・ 振動の激しいところ又は常時振動が発生しているところ。
- ・ タイムレコーダーは、室温が - 5℃から 40℃の範囲の場所でご使用下さい。また急激な温度変化を与えることは避けて下さい。
- ・ 電源は、本体ラベルの記載された電圧、周波数でご使用下さい。
- ・ コンセントに電源コードを差して下さい。変動の大きい電源はご使用にならないで下さい。



～付属のACアダプター接続方法～

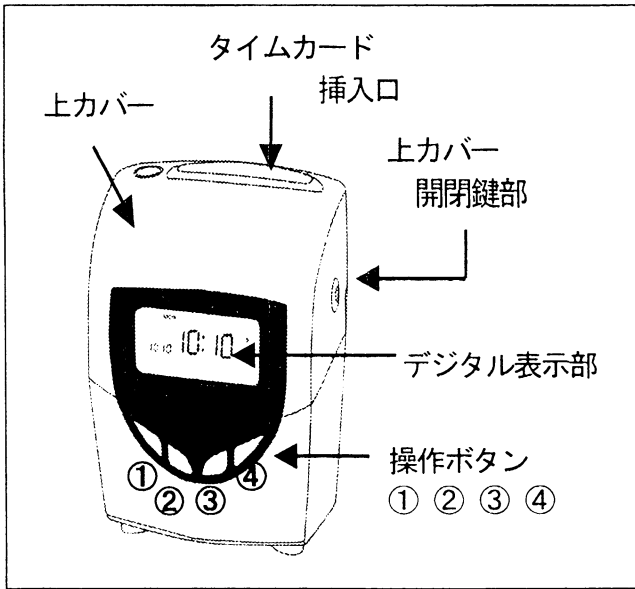
左写真の様に、付属のACアダプターを、本体背面の下部にあるアダプター差し込み口にセットした後、コンセントにACアダプターをつないで下さい。

商品仕様

時計精度	月差±15秒以内(常温)
カレンダー	～2050年 閏年、大小月、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト方式
タイムカード	ミタタイムカード M-A、M-B、M-C(4欄印字)
メモリー保持機能	工場出荷より停電累計時間3年間
プログラム	・ 印字欄を時刻で自動切替する機能 ・ 印字色を時刻で赤・黒に切替る機能 ・ 本体内臓の電子メロディや本体に接続した外部時報装置を設定時刻に鳴らす機能
使用環境	温度：-5～40℃ 湿度 20～80%Rh 結露なし
外形寸法	幅 170×高さ 210×奥行き 120 mm
質量	1.5kg
消費電力	通常 10W～最大 30W

① 各部の名称とはたらき

図1：通常時（打刻モード状態）上カバーが本体にセットされている



タイムカード挿入口

ここからタイムカードを挿入し、打刻します。

上カバー

設定の変更や、リボン交換などはこのカバーを開けますが、通常時は閉じておきます。

上カバー開閉鍵部

上カバーを外す時に、付属の鍵をこの鍵部に差し込んで、ロックを解除します。（縦・ロック）

デジタル表示部

現在の時刻・日付・曜日・印字の色が表示されます。

操作ボタン①②③④

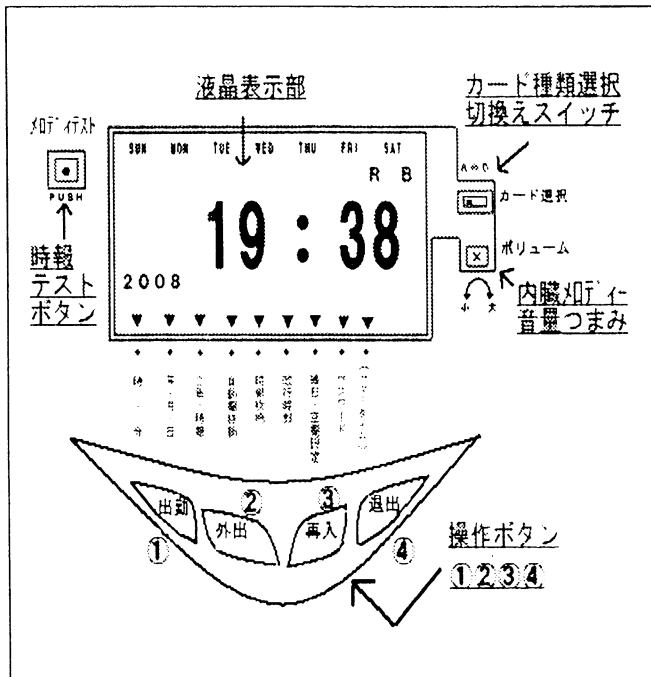
- ①出勤ボタン：赤ランプが点灯中、カードの1欄目に時刻を印字します。
- ②外出ボタン：赤ランプが点灯中、カードの2欄目に時刻を印字します。
- ③再入ボタン：赤ランプが点灯中、カードの3欄目に時刻を印字します。
- ④退出ボタン：赤ランプが点灯中、カードの4欄目に時刻を印字します。

図2：設定時（設定モード状態）上カバーが本体から外れている

※上カバーを外すと、自動的に設定モードに切り替わります。

※設定モードになると、操作ボタンの働きが通常時（打刻モード）と異なります。

上カバーの外し方は次のページに記載しております



液晶表示部

各設定項目の内容を表示します。

カード種類選択切り替えスイッチ

カードの種類によって、A・Bいずれかに設定します。
※ミタカードをお使いの場合必ずAに設定して下さい。

内蔵メロディー音量つまみ

本体内蔵のメロディーの音量を調整します。

※左に回す：小さく鳴る⇔右に回す：大きく鳴る

時報テストボタン

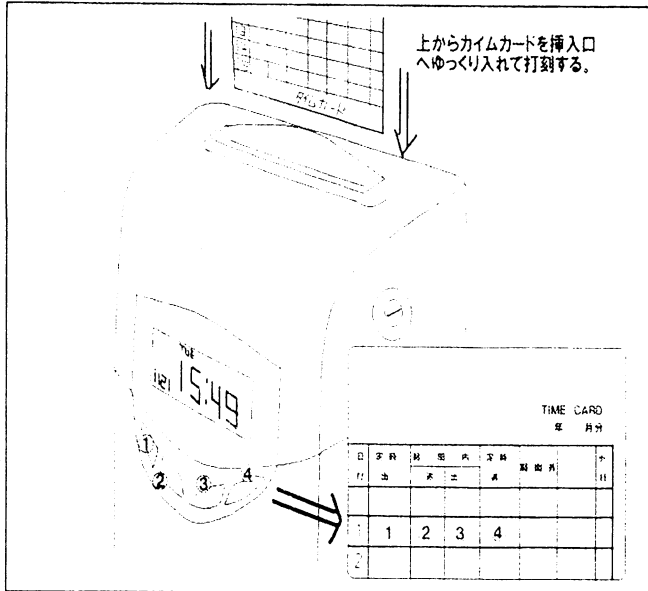
内蔵メロディー及び外部時報装置を本体に接続している場合に、テストで鳴らすボタン。

操作ボタン①②③④

- ①出勤ボタン：設定項目選択ボタン
設定する項目をこのボタンで選択します。
- ②外出ボタン：数値を増やすボタン
設定している数値を送るボタン。
- ③再入ボタン：数値を減らすボタン
設定している数値を戻すボタン。
- ④退出ボタン：セットボタン
設定した数値を確定するボタン。

メロディーテストボタンの裏側にあるボタン：リセットボタン

②通常の使用法



タイムカードの打刻

タイムカードに時刻を刻印する場合、印字させたい面を手前に向けた状態で、挿入口へ上からゆっくり入れる。(カードは自動的に本体へ引き込まれ、時刻を印字した後に上がってきます。)

印字位置

印字される欄位置は、①～④の操作部ボタンのうち、赤く点灯している印字位置へ刻印します。

①：出勤欄⇒タイムカードの1欄目に印字

②：外出欄⇒タイムカードの2欄目に印字

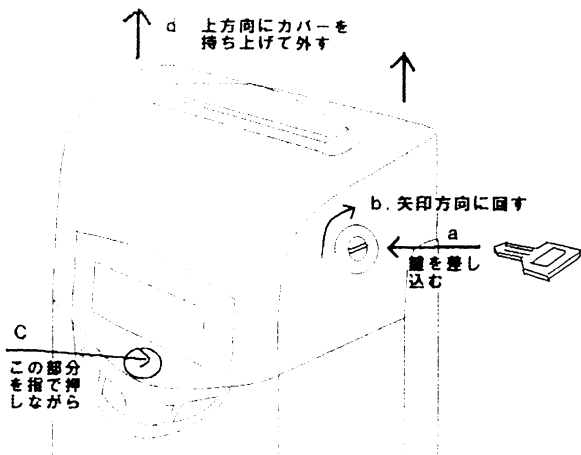
③：再入欄⇒タイムカードの3欄目に印字

④：退出欄⇒タイムカードの4欄目に印字

※本機は4欄印字モデルですので、5欄目以降の印字欄があるタイムカードをご使用になられましても4欄目までしか印字出来ません。

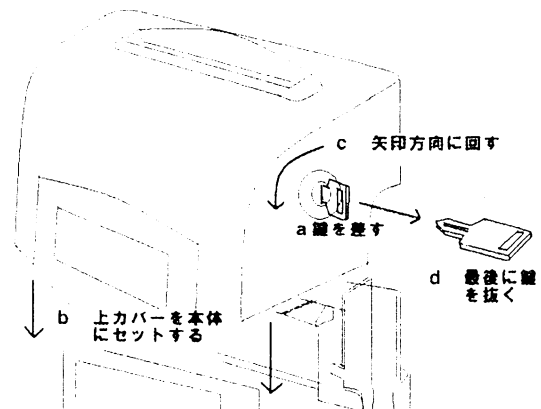
③上カバーの開け方・閉め方

～上カバーの開け方～



- 本体側面の鍵差し込み口に付属の鍵を縦向きに差し込む
- 時計回りに回し、ロックを解除する
(縦：ロック ⇒ 横：ロック解除)
- 上カバー下部を指で少し押しながら・・・
- カバーを上方向に持ち上げカバーを外す

～上カバーの閉め方～



- 上カバーの鍵差し込み口に付属の鍵を横向きに差し込む
- カバーを本体(下方向)にカチッと音がするまではめ込む
- 鍵を反時計回りに回し、鍵をロックする
(横：ロック解除 ⇒ 縦：ロック)
- 鍵を抜く

※上カバーを開ける必要があるケース

時間の調整や、設定の変更を行う際
リボンの交換をする場合

④各設定について

設定項目について

● 時計（時・分）の設定

タイムレコーダーの時計が、遅れや進みなどがあり、誤差を修正するなど、時刻を修正。

タイムレコーダーの時刻が2分進んでいるので
修正したい・・・など時間調整はこちらで！

ステップ 1 へ
(6 ページ)

● 日付（年・月・日）の設定

本体の日付（年・月・日）を変更する。※通常使用時では万年カレンダー内蔵で変更する必要はございません。

タイムレコーダーの日付を一時的に変更したい
・・・など年・月・日の調整はこちらで！

ステップ 2 へ
(6 ページ)

● 2色・時報の設定

打刻する打刻印字の色を（遅刻や早退の管理などで）黒から赤へ切り替える場合や、本体内蔵の電子メロディーや外部時報装置をタイムレコーダーに配線接続した場合のチャイムなどを、何時に鳴らすかをここで設定します。

※最大 36 ステップ設定可能 ※曜日毎の週間プログラム設定も可能

遅刻や早退を赤印字でハッキリ判る様にしたい！
始業、終業や休憩時間にチャイムを鳴らしたい！

ステップ 3 へ
(7 ページ)

● 自動欄移動の設定

出勤や退出などの印字欄を設定した時刻に自動で切り替わる様に設定します。

※最大 10 ステップ設定可能 ※曜日毎の週間プログラム設定も可能

朝は勝手に出勤欄へ、夕方にも勝手に退出欄へ移動
すれば、ダブリ印字も無くなり便利だなあ・・・

ステップ 4 へ
(9 ページ)

● 時報吹鳴（長さ）の設定

本体内蔵の電子メロディーや外部時報装置をタイムレコーダーに配線接続した場合のチャイムなどを、何秒間鳴らすかを設定します。

タイムレコーダーとつないで鳴らしている工場内の
サイレンだが、もう少し短く鳴る様にしたいなあ・

ステップ 5 へ
(10 ページ)

● 改行時刻（段替わり）の設定

タイムレコーダー上の日付切り替わり時刻を、任意の時刻に変更する設定。

最近、深夜残業が多くなり、段替わり時刻を深夜
4 時くらいに変更したいなあ・・・

ステップ 6 へ
(11 ページ)

● **締日・空欄の設定**

使用するタイムカードの締日や空欄位置を設定します。

タイムカードの締日が、20日締めから25日締め
に変わるため、レコーダーの設定を変更しなければ・

ステップ7へ
(11ページ)

● **パスワードの設定**

改ざん防止などで、本体の設定を簡単に変更させなくする設定です。

注意：一度設定したパスワード(4桁の数字)は、次回設定内容を変更する際に、設定した
4桁の数字を入力する事が必要な為、必ずメモを取る様にして下さい。

時間など、簡単に調整出来なくさせるには・・・

ステップ8へ
(12ページ)

● **(サマータイムの設定)**

サマータイム制が導入された場合・・・・・・・・

ステップ9へ
(12ページ)

● **残業マーク印字 の設定**

定時と残業の印字をはっきり区別させたい場合・・・

ステップ10へ
(13ページ)

設定変更の手順について

手順① 上カバーを本体から外す 3ページ ③上カバーの開け方を参照 **設定モードへ**

手順② 設定を変更する 4~5ページ 変更する設定項目を選んで各ステップへ
※複数項目の設定を行う場合は、それぞれのステップへ移動する。

手順③ 上カバーを本体へ戻す 3ページ ③上カバーの閉め方を参照

これで設定変更が終わり、通常に戻ります。 **打刻モードへ**

ステップ1

時計（時・分）の設定

秒 16 13:42
▼ 時 分

時
・
分



秒 16 13:42
▼ 時 分

時
・
分

- ▼のカーソルを“時・分”に合わせる。
(▼が他の項目にある場合、 ボタンでカーソルを移動させて、“時分”に合わせる)
- まず 時 (hour) が点滅します。
 で数値送り (+) で数値戻し (-)
- 正しい時 (hour) になりましたら ボタンで確定。



- 次に 分 (min) が点滅します。
 で数値送り (+) で数値戻し (-)
- 正しい分 (min) になりましたら ボタンで確定。
※分 (min) を確定したと同時に00秒スタートします。
- これで時計の設定が完了しました。
※時計の設定が完了すると、次の年月日設定の項目へ自動的に移動します。

ステップ2

日付（年・月・日）の設定

年 2008 10 19
▼ 月 日

年
月
日



年 2008 10 19
▼ 月 日

年
月
日



年 2008 10 19
▼ 月 日

年
月
日

- ▼のカーソルを“年・月・日”に合わせる。
(▼が他の項目にある場合、 ボタンでカーソルを移動させて、“年月日”に合わせる)
- 次に 年 (西暦) が点滅します。
 で数値送り (+) で数値戻し (-)
- 正しい年になりましたら ボタンで確定。



- 次に 月 が点滅します。
 で数値送り (+) で数値戻し (-)
- 正しい月になりましたら ボタンで確定。



- 次に 日 が点滅します。
 で数値送り (+) で数値戻し (-)
- 正しい日になりましたら ボタンで確定。

- これで日付の設定が完了しました。
※日付の設定が完了すると、次の2色・時報設定の項目へ自動的に移動します。

ステップ3

2色・時報 の設定

2色とは・・・遅刻及び早退をした場合など、打刻する印字を赤色にする事が出来ます。黒から赤印字に切り替える時刻、及び赤から黒へ切り替える時刻設定をここで入力します。

時報とは・・・設定した時刻に、本体内蔵の電子メロディーまたは、本体に接続した外部時報装置を鳴らす事が出来ます。

～2色・時報 項目の表示説明～

● **設定表示例①**・・・ステップ02へ、月曜～土曜の8:30に印字を黒から赤にし、チャイムも鳴らす。

● **設定表示例②**・・・ステップ05へ、毎日の17:00に印字を赤から黒にし、チャイムも鳴らす。

設定手順

何も設定されていないステップNo.01に、月曜～土曜日の8時30分に、印字を赤にし、チャイムを鳴らす場合の設定を参考に入力手順を説明いたします。

～手順①～ 設定項目を“2色時報”に移動させ、設定するステップNo.を選択する

- まず、**出勤** ボタンで▼のカーソルを“2色・時報”にあわせる。
- ステップナンバー(01)が点滅しますので、**退出** ボタンでセットします。

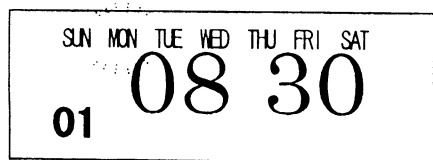
※他のステップへ移動する場合は、**外出** ボタンで移動させて、**退出** ボタンでセットします。

～手順②～ 設定する時刻をセットする

- 次に左2桁 時(hour)が点滅します。**外出** ボタンで左2桁を08に→**退出** ボタンでセットします。
- 次に右2桁 分(min)が点滅します。**外出** ボタンで右2桁を30に→**退出** ボタンでセットします。

※ 7 ページ設定入力例操作からつづく（月曜～土曜 8：30 に赤印字にし、チャイムを鳴らす設定）

↓
～手順③～ 設定を有効にする曜日を選択する



- 次に有効曜日の設定に移り、最初に MON（月曜日）が点滅する。月曜（MON）から順に有効にするか無効にするかを選択してセットしていきます。

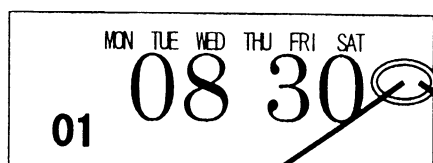
点滅している曜日を有効 → ボタンで有効にする。

点滅している曜日を無効 → ボタンで無効にする。

※月曜～土曜を有効にする場合は、日曜（SUN）だけを無効に設定する。

- 有効にした曜日だけが表示されますので、 ボタンで確定。

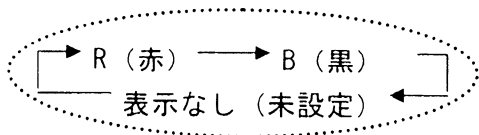
↓
～手順④～ 赤印字・黒印字・印字色切り換え無し の指定をします



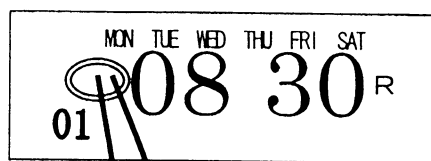
- 次に赤黒 2 色切り替えの設定をします。設定した時刻（曜日）に印字色を切り替える場合、ここで設定します。

ボタンを押すごとに“B”（黒印字開始）⇒“R”（赤印字開始）⇒“表示なし”（切り替えなし）と表示が替わりますので、黒から赤に切り替える場合は、“R”の表示にして、 ボタンで確定します。

※最初は未表示になっておりますので、切り替えなしの場合、そのまま ボタンだけを押して確定します。



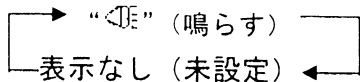
↓
～手順⑤～ チャイム（外部時報）を鳴らすか鳴らさないかの指定をします



- 次にチャイム（時報）の設定をします。設定した時刻（曜日）にチャイム（時報）を鳴らしたい場合、ここで設定します。

ボタンを押すごとに“”（時報鳴らす）⇒“表示なし”（鳴らさない）と交互に表示が替わりますので、鳴らす場合は“”マークを表示して、 ボタンで確定します。

※最初は未表示になっておりますので、時報を鳴らさない場合、そのまま ボタンだけを押して確定します。）



- これで 1 ステップの設定が完了しました。設定が完了すると、自動的に次のステップに移動します。
- もしも入力した設定を確認したい場合は、ステップナンバーが点滅している状態で、 ボタン、または ボタンで確認したいステップに移動して表示させます。
- 既に設定した内容を変更する場合も、同様に變更させたいステップに移動して、手順①～手順⑤を参考に變更する設定だけを入力し、設定して下さい。（變更のない設定部分は、そのままにして次の手順に進んで下さい。）

ステップ 4

自動欄移動 の設定

自動欄移動とは・・・mk400は1日4回打刻印字できる4欄モデルです。
正面の操作ボタンで印字欄を手動で切り替え出来ますが、時刻設定により自動的に欄を移動させる事も出来ます。

～自動欄移動 項目の表示説明～

- 設定表示例①・・・ステップ01へ、月曜～土曜の3:00に印字欄を1欄(出勤)へ移動。
- 設定表示例②・・・ステップ02へ、毎日の15:00に印字欄を4欄(退出)へ移動。

設定手順

何も設定されていないステップNo. 02に、月曜～土曜日の16時00分に、印字欄位置を4欄(退出)にする場合の設定を参考に入力手順を説明いたします。

～手順①～ 設定項目を“自動欄移動”に移動させ、設定するステップNo. を選択する

- まず、**出勤** ボタンで▼のカーソルを“自動欄移動”にあわせる。
- ステップナンバー(01)が点滅しますので、**外出** ボタンで02まで移動して**退出** ボタンでセットします。

※ステップNo. 01に設定する場合は、そのまま**退出** ボタンでセットします。

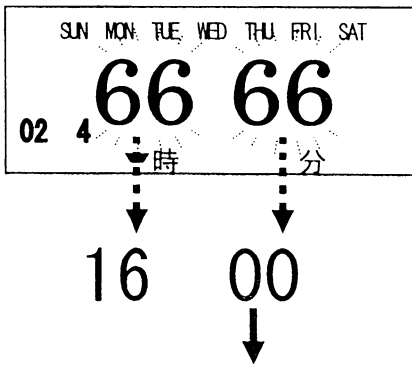
自動欄移動

～手順②～ 移動させたい欄の位置1欄～4欄の指定をします

- 次に印字欄位置(1)が点滅しますので、**外出** ボタンで4に変更して**退勤** ボタンでセットします。

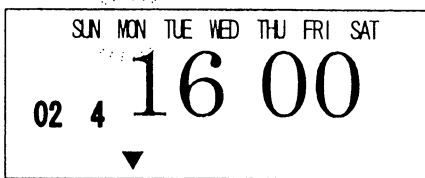
※9 ページ設定入力例操作からつづく（ステップ No. 2 へ月曜～土曜 16 : 00 に印字欄を 4 欄にする設定）

～手順③～ 設定する時刻を設定する



- 次に左 2 桁 時 (hour) が点滅します。
 ボタンで左 2 桁を 16 に → ボタンでセット。
- 次に右 2 桁 分 (min) が点滅します。
 ボタンで右 2 桁を 00 に → ボタンでセット。

～手順④～ 設定を有効にする曜日を選択する



- 次に有効曜日の設定に移り、最初に MON (月曜日) が点滅する。月曜 (MON) から順に有効にするか無効にするかを選択してセットしていきます。
 → ボタンで有効にする。
 → ボタンで無効にする。

※月曜～土曜を有効にする場合は、日曜 (SUN) だけを無効に設定する。

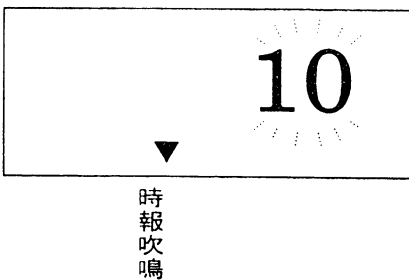
- 有効にした曜日だけが表示されますので、 ボタンで確定。

- これで 1 ステップの設定が完了しました。設定が完了すると、自動的に次のステップに移動します。
- もしも入力した設定を確認したい場合は、ステップナンバーが点滅している状態で、 ボタン、または ボタンで確認したいステップに移動して表示させます。
- 既に設定した内容を変更する場合も、同様に変更させたいステップに移動して、手順①～手順④を参考に設定だけを入力し、設定して下さい。(変更のない設定部分は、そのままにして次の手順に進んで下さい。)

ステップ 5

時報吹鳴の設定

時報吹鳴とは・・・本体内蔵のメロディーもしくは配線接続した外部時報装置を何秒間 (1～59 秒設定可能) 鳴らすかを設定します。



- まず、 ボタンで▼のカーソルを“時報吹鳴”にあわせる。
 で数値送り (+) で数値戻し (-)
- 鳴らす秒数が決まりましたら ボタンで確定。

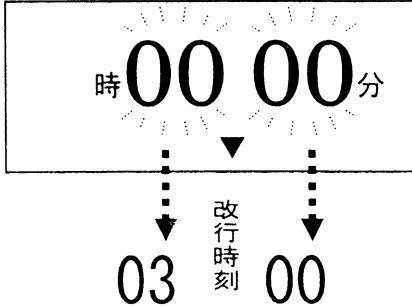
- これで時報吹鳴の設定が完了しました。設定が完了すると、自動的に次の項目に移動します。
- もしも入力した設定を確認したい場合は、▼を“時報吹鳴”の項目に移動すると表示されます。

ステップ 6

改行時刻 の設定

改行時刻とは・・・印字段を切り換える時刻の設定で、午前0時を過ぎ日付が翌日
に変わってから退出する場合でも、改行時刻を設定する事により
出勤と退出の印字を、カードの同じ段に打つ事が出来ます。

改行時刻 0 : 00 の設定を 3 : 00 に変更する設定を参考に入力手順を説明いたします。



- まず、 ボタンで▼のカーソルを“改行時刻”にあわせる。
- 最初に左 2 桁 時 (hour) が点滅します。
 ボタンで左 2 桁を 03 に→ ボタンでセット。
- 次に右 2 桁 分 (min) が点滅します。
 ボタンで右 2 桁を 00 に→ ボタンでセット。

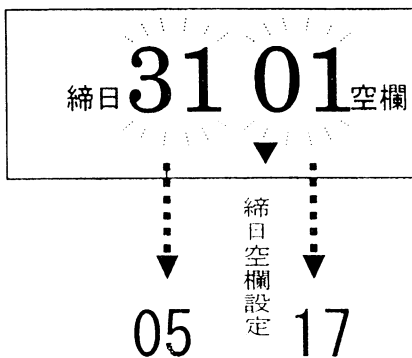
- これで改行時刻の設定が完了しました。設定が完了すると、自動的に次の項目に移動します。
- もしも入力した設定を確認したい場合は、▼を“改行時刻”の項目に移動すると表示されます。

ステップ 7

締日・空欄 の設定

締日・空欄とは・・・ご使用になるタイムカードの締日を設定します。
空欄とは、そのタイムカードの空欄がある段位置を指します。

ミタM - Aカードの設定（締日 31 日空欄 01 段）から、M - Bカード（締日 5 日空欄 17）
に変更する設定を参考に入力手順を説明いたします。



- まず、 ボタンで▼のカーソルを“締日空欄設定”にあわせる。
- 最初に左 2 桁 締め日 が点滅します。
 ボタンで左 2 桁を 05 に→ ボタンでセット。
- 次に右 2 桁 空欄 が点滅します。
 ボタンで右 2 桁を 17 に→ ボタンでセット。

- これで締日空欄の設定が完了しました。設定が完了すると、自動的に次の項目に移動します。
- もしも入力した設定を確認したい場合は、▼を“締日空欄設定”の項目に移動すると表示されます。

純正ミタタイムカードの設定について

ミタカードをご使用の場合、下記表を参考に、ご使用になるタイムカードの締日・空欄設定数値を入力下さい。

カード種類	対応締日	締日・空欄設定
ミタM - Aカード	15 日・31 日	31 - 01
ミタM - Bカード	05 日・20 日	05 - 17
ミタM - Cカード	10 日・17 日	10 - 17

ステップ8

パスワード の設定

パスワードとは・・・改ざん防止など、設定を簡単に変更されない様にパスワードを設定する事ができます。

注意！⇒

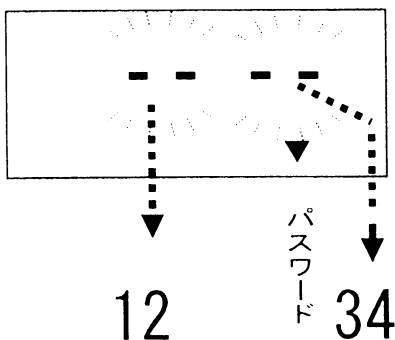
ここでパスワードを設定しますと、次回以降に設定を変更する際に、設定入力した4桁のパスワードを入力しないと、設定モードに入る事が出来ません！

(上カバー開けると、4桁のパスワード入力画面が表示されます)

もしも設定したパスワードがわからなくなった場合、入力されている設定がすべて消去される“リセット”(2ページ下に記載)する事になります。

※設定した4桁のパスワードは、必ずメモして下さい。

パスワードが何も設定されていない状態(横棒—— —)が表示で、新たにパスワード1 2 3 4の4桁を入力する設定を参考に、入力手順を説明いたします。
※パスワード設定後、次回の設定変更時も、上カバーを開けると同じ横棒4つ表示となり、同じ手順で4桁のパスワードを入力します。



- まず、 ボタンで▼のカーソルを“パスワード”にあわせる。
- 最初に左2桁 パスワード左2桁 が点滅します。
 ボタンで左2桁を12に→ ボタンでセット。
- 次に右2桁 パスワード右2桁 が点滅します。
 ボタンで右2桁を34に→ ボタンでセット。

- これでパスワードの設定が完了しました。設定が完了すると、自動的に次の項目に移動します。
- 設定したパスワードを消して、パスワード設定無しにする場合、同じ手順で4桁に - - - - と横棒を4つ設定して下さい。

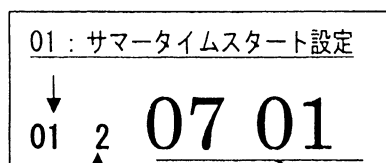
ステップ9

(サマータイム) の設定

サマータイムとは・・・西暦2008年現在、まだ日本では本格導入されていないですが、ある期間、時間を自動的に進ませる様に設定出来ます。

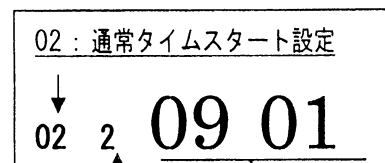
設定例：7月1日から8月31日まで、時間を2時間自動的に進ませる設定

※ はじめに、14ページのオプション設定で、No.5のサマータイム設定の有無で、1(有効)にする必要がございます。⇒ その後、▼を“(サマータイム)”に合わせて設定します。



送り時間 (2h)

サマータイム開始月日



戻し時間 (2h)

通常時間開始月日

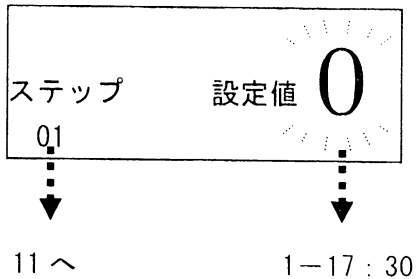
ステップ 10

残業マーク印字 の設定

残業マークとは・・・設定した時刻以降の打刻において、時刻の右横に#マークを印字します。

定時退出と残業退出をはっきり区別させたい場合に設定。

何も設定されていない状態で、17:30 以降の打刻に残業マークを印字させる設定。



- 上カバーを外した状態で、**出勤** ボタンを5秒間押し続ける。

通常の設定状態から、出勤ボタンを5秒押すとオプション設定（その他の設定）画面に移動します。

設定は01～11までございます。

詳細につきましては次のステップ11でご説明します。

左に小さく01が点灯し、右に大きく0が点滅

- **退勤** ボタンで左のステップ No. を01から11に送ります。

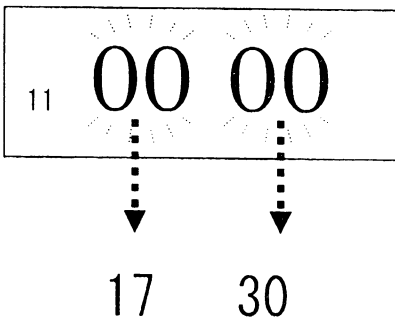
- **外出** ボタンで右の 0（残業マーク印字無し）から 1（残業マーク印字有り）に変更し、**退出** ボタンでセットする。

- 次に左2桁 時（hour）が点滅します。

外出 ボタンで左2桁を17に→**退出** ボタンでセット。

- 次に右2桁 分（min）が点滅します。

外出 ボタンで右2桁を30に→**退出** ボタンでセット。



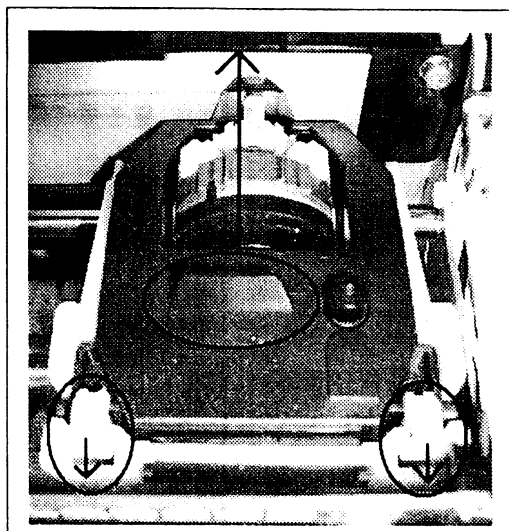
- これで1ステップの設定が完了しました。設定が完了すると、自動的に次のステップに移動します。
- もしも入力した設定を確認したい場合は、**退出** ボタンを押して左のステップNoを11に移動させて確認して下さい。

※ 残業マークの設定が終了しましたら、そのまま上カバーを閉じて下さい。

⑤ リボン交換の方法

印字が薄くなってきましたら、本体内部にセットされていますリボンカセットを交換して下さい。

～本体リボンカセットセット部～



【リボン交換手順】

- A 本体上カバーを開けます (3 ページ参照)
- B 左図、下の2ヶ所ございます白いリボン押さえ部を、矢印方向に指で引っ張りながら、リボンカセット中央部のリボン取っ手部を持ち、上方向に引き上げます。(リボンカセットが外れます)
- C 次に新しいリボンカセットを、外した場所に装着します。(リボンがたるんでいたり、引っかかって奥まで入らない場合は、リボン取っ手部横のつまみを回しながらしっかりとセットして下さい。

⑥ 時報配線の接続方法

タイムレコーダーに、時報装置を配線接続して、外部で鳴らす場合、その配線方法をご説明致します。

- 注意!**
- 配線接続を行う際は、必ずタイムレコーダーのコンセントを抜いた状態で行って下さい。
 - 接続した配線は、抜けない様にしっかり固定して下さい。(配線が外れた場合、感電や火災の危険があります。)
 - ACを使用した外部時報装置を接続する場合は、電気工事の有資格者以外は絶対に行わないで下さい。

手順A

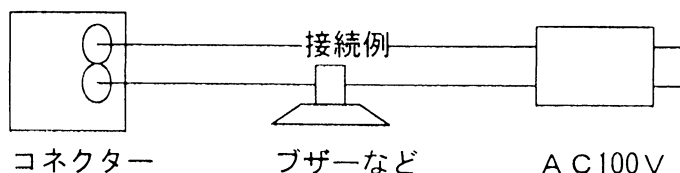
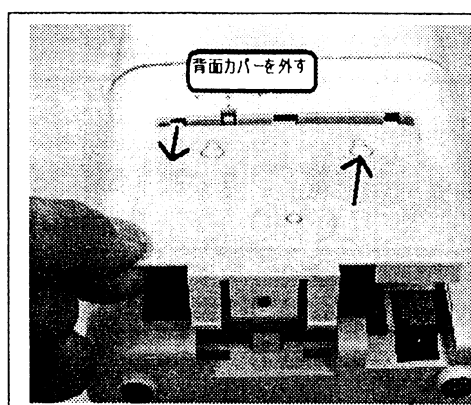
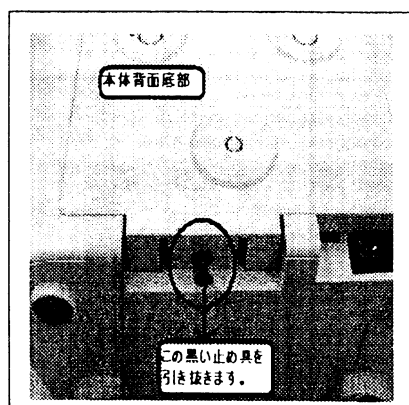
まず背面底部の黒い止め具を抜きます。

手順B

背面カバーを外します。

手順C

オレンジ部分をマイナスドライバーなどで押し込みながら、緑の穴に配線を奥まで差し込み、接続します。

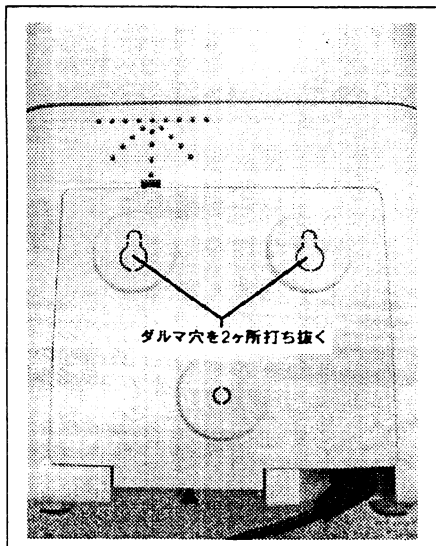


接点出力：無電圧接点出力 1回路
 接点容量：AC負荷 100V 1.2A以下
 : DC負荷 30V 2.0A以下

⑦ 壁掛けで使用する方**法**

台の上に置いてご使用になれない環境の場合、壁に掛けて使う事も出来ます。

～本体背面部～



【壁掛け手順】

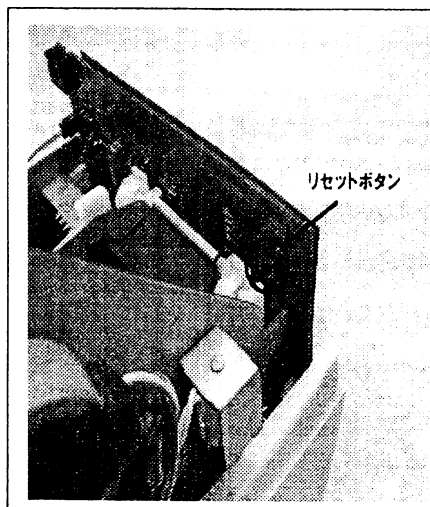
- A 本体背面の2ヶ所のダルマ穴を打ち抜きます。
※15 ページ時報配線の接続方法の手順A・Bを参考に背面カバーを外し、内側から打ち抜きます。
抜き終わりましたら、背面カバーを本体に戻します。
- B 取り付けをする壁に、木ねじを2箇所固定します。
※取り付けるネジの高さや幅に注意
- C 固定した木ねじに、タイムレコーダー本体を引っ掛け
セットします。
※先ほど打ち抜いた穴部を木ねじに引っ掛けます。

⑧ リセット方法（作動がリセットされ、入力していた設定がすべて消去されます）

落雷や衝撃を与えたり等で本体が突然作動しなくなった場合や、設定していたパスワードがわからなくなった場合など、一旦本体をリセットする場合は、こちらの方法でリセットを実行して下さい。

- ※ リセットを実行すると、時刻や年月日の設定も含め、すべての設定が消去され、再度すべての設定を再入力しなければなりませんので、ご注意下さい。

～本体液晶表示部裏側～



【リセット手順】

- A 3 ページ上カバーの開け方を参考に、カバーを外します。
- B 左写真のリセットボタン（メロディテストボタンの裏側）を押します。

⑨ ご使用のカードについて

カード種類	対応締め日
ミタ タイムカード M-Aカード	15日・31日
ミタ タイムカード M-Bカード	05日・20日
ミタ タイムカード M-Cカード	10日・25日

～注意～

ミタ タイムカードをご使用の際、本体内部のカード種類選択切り替えスイッチは、必ずAにセットしてご使用下さい。

⑩ トラブルシューティング


故障かと思ったら

現象	確認事項
●全く作動しない ●カードを引き込まない	コンセントが抜けてないか？またプレーカーが落ちてないか？ クリップやメモ紙など、カード入口付近に挟まってないか？
●印字しない ●印字が混色する	リボンカセットは正しくセットされていますか？
●印字位置が合わない	年月日・締め日・空欄や改行時刻の設定などを確認して下さい。 カードが折れたり曲がったりしていませんか？
●タイムカードが中に 入って出てこない	一旦コンセントを抜き、しばらくしてから再度差し込んで下さい。 上カバーを開け、中に何か挟まってないか確認して下さい。

⑪ エラーコード一覧









エラーNo.	主な原因	確認
EC-1	プリンタセンサーエラー	リボンカセットが外れていないか確認
EC-2	カード センサーエラー	カードの汚れや折れ曲がっていないか確認 日付・締め日などの設定を確認
EFC	カード表裏判別エラー	カードの表裏面の入れ間違えがないか確認 日付・締め日などの設定を確認 カードの汚れや折れ曲がっていないか確認

⚠ 危険



AC出力のある機器で外部の機器の電源を入り切りする場合、接続工事は有資格者以外に行わないでください。また、工場の際は本機および接続する機器の電源プラグは必ずコンセントから抜いてから行ってください。通電時にはドライバーなどの金属物で接続端子に触れないでください。誤って端子に触れた場合、感電、火災の危険があります。

⚠ 危険

-  この機器のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
-  この機器を改造しないでください。火災や感電のおそれがあります。
-  万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社（あるいは保守 サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
-  表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をししないでください。火災、感電のおそれがあります。
-  電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
-  万一、異物（金属片、水、液体など）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守 サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
-  アース接続してください。アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守 サービス会社）にご連絡ください。アースが接続されないで万一、通電した場合は火災、感電のおそれがあります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

日頃のお手入れについて
半年に一度は電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

⚠ 危険

-  ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となる場合があります。
-  この機器の上に水などの入った容器または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となる場合があります。
-  浴室やほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
-  調理台や加温器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
-  プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。（必ずプラグを持って抜いてください）コードが傷つき、火災、感電の原因となる場合があります。
-  本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となる場合があります。
-  プリンターのヘッドの部分には、触れないよう、ご注意ください。けが、火災、感電の原因となる場合があります。
-  電源プラグは真まで確実に挿入してください。火災、感電の原因となる場合があります。
-  タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
-  機器で指定されていない電池は使用しないでください。電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となる場合があります。
-  万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守 サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
-  扉が開いているときに、扉に寄りかからないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となる場合があります。
-  乾電池を強強に挿入する際は、電池の極性（プラスとマイナスの向き）に注意して、間違えないように挿入してください。間違えますと、電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となる場合があります。

—MEMO—

mita TIME RECORDER

ミタ タイムレコーダー保証書

MK-400

No. _____

お買い上げ日

20

年

月

日

このタイムレコーダーは、高度の品質管理にもとに厳密な検査に合格しておりますことを保障いたします。

万が一通常の使用において故障を生じた時はお買い上げ日から1年間無償で機械を調整いたしますので、この保証書を添えて販売店または弊社へご連絡下さい。


本保証書は日本国内のみ有効となります。

～納入販売店～

株式会社 ミタ
東京都練馬区高野台5-1-24
TEL 03-3997-8505



株式会社 ミタ

 0120-22-8505